

明2025年

学校創立 110周年
校歌制定 70周年
同窓会報発刊 50周年



発行

大阪府立園芸高等学校大園同窓会
〒563-0037 池田市八王寺2-5-1

印刷

株式会社 サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
電話 079-284-1380

明2025年 創立110周年を祝賀!

—— 誇りある歴史を永久に 輝く人材を社会に世界に ——

園芸高等学校校歌

作詞 安西冬衛
作曲 高木東六

一、銀杏の木陰道ひろく
真理にひらく知恵の門
みのりゆたかにいま結ぶ
木の実尊き掌
幸ありわれらわれらが腕
土のかおりもさわやかに

二、学びの庭の美しく
日ごとにはげむ園の芸
ひとみさやかにいま究む
ころすずしき花薔薇
栄ありわれらわれらがいのち
匂ういぶきもすこやかに

三、豊島の広野芝青く
理想をめざす若き眉
おもいまだかにいま仰ぐ
ひかりまばゆき揚雲雀
晴れたりわれらわれらが未来
春のつばさもおおらかに

大阪府立園芸高等学校

● フラワーファクトリ科 ● 環境緑化科 ● バイオサイエンス科

大園同窓会推進事項

学校創立120周年へ 学校・学生への教育支援の強化

会費、賛助金の推進強化のお願い

同窓会活動の活発化

ご挨拶

大園同窓会 会長 小南 修身

大園同窓会
会員の皆様方におかれましては、

ますますご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

ほぼ終息したかに思えた新型コロナウイルスの脅威が、あらためて11波の流行の兆しとなっています。加えて今年は手足口病、溶連菌・中でも劇症型溶連菌などの感染発病が多くみられるようですので、簡単に風邪と済まさないよう注意が必要と思われまます。

グローバル化された社会の人口移動に対し、水際対策における検疫では、病気や害虫などの流入を全て止めることは、不可能のことと思われるなか私たちができることは、新型コロナの脅威に立ち向かった時のように、個々の自覚そして予防が必要で

また、四季折々の移ろいを感じ

じる日本列島も記録を変える猛暑日、そして地域的な豪雨による激甚災害が多発しています。

特に高温状態化により、それまで生産されていた農作物がその地域に適さなくなり、早急な品種の改良が求められています。

我が園芸高校においても農園芸のリーダー校として、多方面における研究開発を行っていただいていいることと期待をしているところ

です。またこの場をお借りして、皆様にお願いをしなければならなことが2点ございます。

1点は、今回も同封しています会費納入の件です。今年から郵送料の大幅な値上げが行われますが、これまで会員の会費納入率が大変低く、このままでは毎年の会報発送の滞りが生じる状況です。会費納入について皆様方のご理解ご支援をよろしくお願い

します。2点目は、大園同窓会役員の

高齢化が進む中、役員事務の引継ぎを図っていかねければなりません。同窓会への参画可能な方は、是非ご連絡をいただきませうお待ちしております。

今後も生徒を中心とした母校

地域に愛され受け継がれていく学校に

大阪府立園芸高等学校 校長 神 絵里香

大園同窓会
会員の皆様方におかれましては、

ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校教育活動に對しまして、多大なご協力とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

学校教育も正常化することができ、実験・実習を通じた学びや、農業高校生らしい学校生活を送れるようになってい

ます。特に、放課後活動としての農業クラブや部活動も一生懸命に取り組んでいます。この活動は、自らが課題と目標を定めて積極的

に取組むものです。そして、それが、より発展しますように役員一同努力を続けてまいる所存です。皆様方より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

の成果が様々な校外活動での入賞や地域交流につながっています。

私はいつも生徒に、「5年後、10年後の自分は何をしているか想像して、今何をすべきなのかを考え、目標を定めて行動してください。」と折に触れて話をしています。5年後、10年後の日は、園芸高校はどうなっているのでしょうか。先の見通しが難しい世の中にあっても、常に大切なものであり、変えてはいけ

ないものは、「食」や「環境」であると思います。この2つを大切にしている本校が、その学びを今以上に地域に発信し、『生徒の学びで、地域の「食」や「環

境」を支えていくこと』が本校の未来への目標ではないでしょうか。今、その目標に向かって、各学科が工夫を凝らし地域にその活動の場を広げています。その活動を通して、生徒一人ひとりが輝くことができるよう、教職員上げて努力していく所存です。

11月10日(日)には創立記念祭を予定しています。生徒の活躍を見ていただくのみならず、この機会に多くの卒業生の方々が母校を訪れ、旧友や先生方との再会を楽しむことのできる貴重な機会としていただけましたらと考えています。

最後になりますが、地域に信頼され、地域と共に育っていく学校をめざしてまいりますので、同窓会の皆様方には、母校の発展のために、種々のお力添えを賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。



PTA会長 挨拶

長尾 幸



今年度、PTA会長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

長尾幸（ながおゆき）と申します。大園同窓会員の皆様におかれましては、日頃よりPTA活動に多大なるご理解、ご協力を賜り、大変ありがとうございます。今年度は6月に体育祭が開催され演目に参加する子ども達のたくましい姿を目の当たりにし私自身パワーをもらいました。また9月は恒例のぶどう狩り、10月はPTA社会見学会、11月には記念祭と盛りだくさんの行事を開催予定です。記念祭では昨年同様、子ども達が精魂込めて作り上げた野菜や花苗の販売に飲食販売も予定しております。今年は昨年以上に猛暑の中での活動になります。熱中症や体調管理にも配慮しながら皆で取り組んでいきます。これからも子ども達が価値ある学校生活を過ごせるよう応援して参ります。今後とも、PTA活動へのご理解、ご指示、ご協力を賜りますよう、よろしく願っています。

事務局長新任挨拶

高25園 喜田 雅也



この度、植木前事務局長の後を受け、事務局長をさせていただきます。

いただきました。昭和48年卒業（園芸科25期）の喜田雅也と申します。長く事務局員として大園同窓会の運営に携わらせていただきましたが、微力ながら事務局長として担当させていただきますので、よろしく願っています。

さて、毎年卒業と同時に約200名の新たな会員が増えますが、その掌握は支部長や幹事だけでは対応できない状況です。また、同窓会報の編さんや同窓会総会への新たな参加者の増加等、いくつかの課題もあります。10年後、30年後の大園同窓会を考えた時、諸課題を解決するためには若い人の知恵と力がどうしても必要です。後輩のためにも魅力ある大園同窓会にしていきたいと思っております。是非とも事務局に入って力を発揮して下さい。よろしく願っています。

支部活動のお願い

大園同窓会は、100年を越える歴史の中で、同窓生の親睦を図り、先輩が後輩を次代の社会リーダーに育てようと、又、それぞれの地域の繁栄に貢献しようとの意気に燃えて支部を作ってきました。

現在、池田市、箕面市、豊中市、川西市、宝塚市、猪名川町、東京・関東支部、豊能能勢・分校支部、大阪南支部、高槻・島本支部、尼崎西宮支部、奈良支部、枚方交野支部、吹田支部、九州支部で活動しています。そこで、左記のご協力をお願いします。

募集

1. 支部設置予定の地域で支部長もしくは世話人を引き受けて頂ける方を自薦・他薦してください。

・茨木市、東大阪市、八尾市、大阪市、守口市、各道府県

2. 再興を目指す地域で支部長もしくは世話人を引き受けて頂ける方を自薦・他薦してください。

・伊丹市

☆支部長、世話人の募集
・役員会への出席（年間1〜2回）、同窓会総会への出席

・所属の役員や幹事への声掛け
・支部内の催し物の企画、実施等（出来ることから）
・支部内の話題の取り上げ・報告（随時事務局へ提供）
☆各支部では、支部長の元に支部役員を募っています。
副支部長、支部書記、支部会計、支部女性部会、支部ユース部会等の委員
☆支部長等の連絡先は、事務局へお問い合わせください。
（次回の役員会で最新の連絡先をお知らせさせていただきます）

令和6年 創立記念祭のご案内

コロナ禍前の要領で開催する予定です。同窓会員、元教職員、PTA等のふるってのご参加をお願いします。学習研究成果の発表、各種展示、野菜・生産品の販売、バー・屋台等々、総力を挙げて準備します。

◎同窓会館を休憩所にあて簡単な飲物を用意しております。懇談等にもご利用下さい。住所変更等の受付も行います。へ幹事の方の立ち寄りをお願いします。

尚、詳細は学校ホームページ及び同窓会ホームページでご確認下さい。



令和5年度 大園同窓会総会報告

令和5年度大園同窓会総会が、令和6年2月25日(日)午前11時より大阪府立園芸高等学校 本館1階会議室にて開催されました。小南会長挨拶、神学校長挨拶につづき議案の審議に入り、1号2号議案について承認をいただきました。

◇第1号議案

令和5年 事業報告

2月26日(日) 役員会・総会
3月1日(水) 令和4年度生同窓会入会式
3月2日(木) 卒業式
5月20日(土) 役員会
7月22日(土) 会報編集会議
9月19日(火) 会報編集会議
会報等委託業者と協議
10月15日(日) 会報47号発行
11月12日(日) 役員会・創立記念祭

令和6年 事業計画(案)

1月27日(土) 役員会
2月25日(日) 同窓会総会
2月29日(木) 令和5年度生同窓会入会式
3月1日(金) 令和5年度卒業式
5月下旬 役員会・幹事会
7月中旬 会報編集会議
8月下旬 会報編集会議
10月 会報48号発行
11月10日(日) 役員会・創立記念祭

◇第2号議案 令和5年 会計報告

1. 総括

収入金額 4,650,292円
支出金額 1,500,018円
差引額(繰越金) 3,150,274円

2. 収入の部

単位:円

項目	金額
繰越金	2,631,200
同窓会費(協力金含む)	1,331,076
入会金	688,000
利息	16
合計	4,650,292

3. 支出の部

単位:円

項目	金額
事務費	1,294,354
管理費	87,588
行事及び補助費	63,029
広報費	39,591
手数料等	15,456
合計	1,500,018

*年会費、並びに「賛助者」による賛助金制度について

同窓会の運営並びに学校、生徒への支援充実のため、令和4年から年会費を3,000円に改正させていただきました。その上、今年も賛助金制度のご協力もよろしくお願いいたします。

(注意:納付書は2通り送付しますが、どちらか1つで振り込んでください。又、スマホ決済もできますので、ご利用ください。)

令和6年度同窓会総会のご案内

日時:2025年(令和7年)3月2日(日)11時

総会会場:学校1階会議室(予定)

議題:会計報告、事業実績報告、事業計画案等

新支部の結成

枚方交野支部

支部長:矢寺成次(高21化)

吹田支部

支部長:馬場 力(高29化)

新役員

顧問 植木充義(高32造)

事務局長 喜田雅也(高25園)

宝塚支部長 福田十糸子(高40化)





▽若者は園芸高校を目指して！

のり

<noimaru.1.nori@gmail.com>

環境緑化科

2024年3月卒業

今年卒業して、現在は会社員をしています。のりです。

園芸高校の3年間は、超充実の学校生活でした。ほとんどの同級生も同じ感想です。

農業志向が高まっている現在、私が思う園芸の魅力話を話したいと思います。

それは

①自然との共生を体験できる日常が溢れていて、また、資格取得、各学科ごとに大学卒業に近い専門知識を深められるところ、
②就職・進学がすこぶる良いことです。

私の環境緑化科の学校生活でも、まず、四季折々でイロハモミジやケヤキなどの紅葉、普段見ることがない昆虫や動物を見たり変化を身近に感じられる事からです。

資格取得は2級造園技能士や重機操作の関係、危険物取扱者などの資格を高校生活の間に取得できる事です。

また、フラワーファクトリ科では野菜や花などの基礎知識と実際の育成収穫販売、環境緑化科は庭の造り方や樹木の剪定方法など、バイオサイエンス科では微生物の基礎知識と応用など、パン等の加工品や薬品についての知識を、それぞれ各学科ごとに3年間で学べる事です。中には、大学でも学ばないような応用技術や研究を行うこともあります。

卒業生は、大手企業へ就職、私立公立の各専門学校、大学への進学率が高い事です。3年間で知識を深めるなど沢山の経験を

求めるあなたもぜひ園芸で充実した高校生活を送ってください。

K.Yさん

フラワーファクトリ科

2024年3月卒業

愛媛大学 社会共創学部

地域資源マネジメント学科

農山漁村マネジメントコース

どのように進路を決めた？

私は小さい頃から、恵まれた自然環境の中、家庭菜園で野菜を作り、旬の美味しい食べ物がある、祖母の家が大好きでした。そして高校は、自分で美味しい野菜や果物を作って食べた

い！と思いついて園芸高校に入学しました。農業に関する知識や技術を身に付けたり、2年次から課題研究という授業で「地域資源を活かした商品開発のプロジェクト 商品名「みからりん」」に取り組むなど、美味しく楽しく

過ごしていました。

大学進学としか決めておらず、いざ、どこに進学しよう...と考えていたとき、私の脳裏に浮かんだのは、私の原点である祖母の住む地域でした。そこは過疎地域で、そういった地域に貢献できる活動を大学でしたい！と考え、大学探しを始めました。

愛媛大学社会共創学部の存在を知り、オープンキャンパスに参加しました。島根大学、龍谷大学なども見に行きましたが、実際の授業内容や研究テーマ、学部の理念や雰囲気など、活動をするならここがいいと思い、進路を決めました。

課題研究や農業クラブ会長、意見発表会での経験・実績があったので、総合型選抜を使っていた受験をすることができ、面接なども自信を持って挑むことができました。私の園芸高校生活はそのまま将来に繋がったと思います。

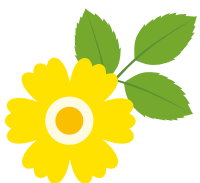
▽園芸高校に興味のある皆さんへ！

春には桜吹雪、初夏のキラキラ光る新緑、真夏の日差しが降り注ぐトウモロコシ畑、セミの合唱、ローズマリーが香る生け垣、秋の実習庭園を彩るモミジとイチヨウ、鳥の鳴き声、畑近くで見えるキツネやタヌキ、焼き芋の香り漂う冬、大根が干してあるトンネル横。日々移り変わっていく景色の中で、高校生活の思い出を、作ってみませんか？

机上の空論じゃない、本当の学びができるのは、園芸高校だからです。頑張れば頑張るほど応援してくれる人がいて、頑張る機会がある学校です。自分次第でどこまでも面白い高校生活にできる、そのチャンスを掴んでみてください。

まずは、体験入学と創立記念祭へ！

合格記の詳細は下記



黎明期 1915年（大正4年）

●豊能郡立農林学校 開校



1915年（大正4年）
豊能郡立農林学校配置図
現池田市鉢塚3丁目



1918年（大正7年）理科教室



1918年（大正7年）3月 第1回卒業生

●大阪府立園芸学校 開校



1924年（大正13年）2月18日
大阪府立園芸学校開校 池田市秦野（現在の池田高校）



1925年（大正14年）



園芸学校 創立当初 校舎全景



現在も池高坂として残る



相撲大会



石橋駅



写真で見る 110年

興隆期（1930年代）

●大阪府立園芸学校 移転（現在地へ）



現在地へ移転開始



1935年（昭和10年）から6年かけて池田市秦野から現在地へ移転
（約35,000坪：115,700㎡）



1938年（昭和13年）頃 造成には生徒自らが励んだ
“西に府立園芸あり！”との意気込み



1944年（昭和19年）正門

飛翔期（1950年代以降）

●大阪府立園芸高等学校 改称1948年（昭和23年）4月1日



1954年（昭和29年）
ほぼ現在の形に
左下の池は埋め立てられ現在は
池田市総合スポーツセンター



学校への道標
1937年（昭和12年）頃



2015年全景



正門

支部だより

豊中支部

故森彰男様を追悼する

(R6年3月3日逝去)

田中 明男(昭和47年度造園科卒業)

(株)田中造園土木

長く大園同窓会副会長、および豊中支部支部長をお務めいただいた森彰男様が本年3月3日に御逝去されました(享年85年)。追悼の意とともに皆様にお知らせさせていただきます。



森先輩は学業を終えられた後、豊中市役所に進まれ、以来長きにわたって、公園、緑地行政に取り組み、国や府との調整の中、豊中の公園と緑を全国のトップクラスに育てられました。

公園課課長を退職の後には市議員をお務めになり、広く公共、福祉に御尽力されました。また、同窓会の役員活動は100周年を契機として後進に道を譲られました。が、晩年はライフワークとも仰つ

ていた農作業と、大切にされていたガラス温室での蘭栽培に時を過ごされ、地元の自治会での協力も続けられていました。

小職は、40年前に豊中に御縁をいただいた以来、親しくしていただいたことは誠にありがたく感謝に絶えません。思い出はつきませんが、鶴見花博の翌年オランダで開催されたフロリアード1992(花のオリンピック)を主とした海外視察団の副団長として、会の進行にあたられました。その折参加された行政、各種団体の中、不肖ながら私も参加を許され同行させていただき、見聞を広めさせて頂いたことは今でもありがたく、思いは紙面に尽くせません。ここに改めて故森彰男様のご冥福をお祈り申し上げ、お別れとさせていただきます。

合掌

池田支部

池中PTA『こけテラリウムワークショップ』を開催して

塚田(恒川) 円

(第44期 微生物技術科)

2024年7月13日、池田市立池田中学校において、PTA講習会として、泉原一弥先生を講師としてお招きし、『こけテラリウムワークショップ』を開催しました。



私は、池中のPTA文化教養副委員長として参画し、5月から企画が始まりました。趣旨や内容を検討するうちに、私が学生時に担当教員をされ、信頼関係があり、最近の環境教育や活動に積極的に取り組まれている泉原一弥先生にお願いする方向性が固まりました。泉原先生も「中学校でお話しできるのであれば喜んで」と快諾していただきました。

企画から実施まで、あつという間に開催を迎えました。私が淀川キリスト教病院老人保健施設の作

業療法士ということもあり、日々の仕事の計画でもおおまかな治療や集団プログラムを組んでいることもあり、それが活かされました。

「やあね、こけちゃっかー」で乗り込んでこられた泉原先生を迎えた開催当日は、参加者32名になり、大盛況の中、無事成功でした。府立園芸のポテンシャルをブチアピールができた一日で、思い出のページになりました。

また、期待以上のものを持ってきていただけました。泉原先生の存在だけでもすごいのに、一緒にコラボする日が来るとは、夢のようでした。皆様の盛り上がりもすごく、大成功でした。

泉原先生の環境に対する熱い言葉を残して下さいました。最後に一言「ハチドリの一としずく」——今できることをしていく。一同、このお言葉とひと向きに環境保全とSDGsに取り組まれるお姿にまたない感動を覚えました。

協力していただいた皆様、この場をお借りして、お礼を申し上げます。また、同じ池田のSDGsを進めるためにも、池中、府立園芸、大園同窓会が協力し合えたら良いと思いました。ありがとうございました。

メモ:「ハチドリの一としずく」
(坂本龍一さんも推奨)

《森が燃えていました。森の生きものたちはわれ先にと逃げていました。》

でもクリキンディという名のハチドリだけは 行ったり来たり。口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは火の上に落としていきます。動物たちがそれを見て「そんなことをしていったい何になるんだ」といつて笑います。

クリキンディはこう答えました。「私は、私にできることをしているだけ」と」

池田支部 発足40周年に
地域イベントを開催

支部長 谷端 隆(高32進)



大園同窓会池田支部長の谷端隆です。

平素は同窓会運営にご理解とご協力を頂き誠に感謝いたします。7月8日に結成40周年を迎えた池田支部としては、創立110周年記念事業について歴史ある母校の未来の為、在校生から卒業生までより良い企画にする為に努力を



今年も10月12日13日に開催されますのでお近くのの方は是非足をお運び頂き後輩達に応援の声をおかけ下さい。

続けます。

池田では昨年10月21日22日の2日間池田市立旧細河小学校におきましてBOTA FES 2023と言う地域活性イベントが開催され母校園芸高校もライブ箱庭づくりライブ生け花、手作りパン販売、花壇植込み、農産物販売とイベントで大変活躍していました。

枚方・交野支部

就任のご挨拶

支部長 矢寺 成次(高21化)

令和6年度から枚方・交野支部が創設され、総会にて支部長の任を受けることとなりました矢寺です。他支部のように支部活動が出来たらと考えています。枚方・交野地区の皆様よろしく願います。

私は海外移住の夢を持ち園芸科を志望していましたが、これからの海外移住は園芸より農芸化学の時代だと中学校の先生に言われ農芸化学科に入学、クラブ活動は海外移住研究会に入会しました。卒業時にはその夢も消え、製薬会社に就職、会社から府大で獣医病理学を履修させてもらい退職まで完全研究部門で働いていました。中学の先生と母校に感謝です。

退職後は農業を継ぎ、交野市の農業団体に属して野菜のブランド化を目指し「かたのルビー」というジャガイモをブランド化しました。それが、今年6月のテレビ大阪の番組「発見「食」遺産」で紹介されました。美味しいジャガイモですよ。収穫し易いし、サツマイモのような立派なイモが沢山収穫出来ます。レッドムーンという品種です。是非作ってみて下さい。

それに10株に1個ほど写真のようなハート形のイモができます。子供たちの芋ほり体験で喜ばれています。



「かたのルビー」

吹田支部

支部長 馬場 力(高29化)

かれこれ48年まえ、植物に興味はなかったが入りやすそうで公立、というだけの理由で農芸化学科(現在のバイオサイエンス科)に入学した。白衣をまとっての実験や加工棟で4日間泊まりがけでの麴作りからの味噌仕込みや乳酸菌飲料、缶詰め実習またボイラーの授業もあった。

良いか悪いか勉強ではりつめる事もなく毎日ゆるゆるに心地よくすごせた。

でも今の園芸高校は文部科学省が認定するスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定され

た事から、将来を大きく開きたい生徒にはサポート体制は盤石と感じる。

先般、新たに設置された吹田支部の支部長を拝命しました。大園同窓会員も約300名在住されていると伺いました。皆さんと連携を取りながら、園芸高校の未来のために役立てればと思っています。

光陰矢の如しで、昨年47年間働いて定年退職した。仕事やなんやで家内が可愛がつっているベランダの草花には見向きもしなかったが、去年創立祭で生徒さんお薦めの150円で買った紅葉の植木の

なえ?がけなげにもじつくり葉を増やすのを見てなぜか植物を愛でるようになった。今やベランダの水やりはわたしの仕事です。園芸で知らずに身についた植物との一体感を感じています。

箕面から吹田に越して2年目。何かお役に立てればと思っています。

以上です。よろしくお願いいたします。

宝塚支部

支部長 福田十糸子(高40化)

この度、宝塚支部長の委嘱を頂きました福田です。

今や宝塚市には、200人近く



の大園同窓会メンバーがおられます。地元で造園業を営む多くの先輩やその後継者の方々。また、最近では人口移動で宝塚に転入された同窓生。皆様と仲良く語り合いながら、発展する支部にしていきたいと願っています。

この原稿を書くに際して、改めて卒業アルバムと創立100周年の記念誌を見ると、沢山の楽しい日々を思い出す事になりました。

私自身が在学していた昭和の終わりの頃も、我が子が在学していた平成の頃も、楽しい学校生活は変わらず、二人の子どもの在学中には「そば打ち」に賭ける青春の日々を6年間、PTAの立場からも垣間見る事が出来ました。

私にとって園芸高校は、人生のアルバムの数ページを彩ってくれた楽しい学校でした。

これからも、次々続く園芸高校生に最高に価値ある学校生活を送って頂くためにも、社会を支えるかけがえのない人材と成長して頂くためにも、同窓会は支援をしていけたらと思っています。

園芸 歴史列伝 第5回

人々に実りをもたらす人生に生き抜いたダシヨー

西岡 京治氏 (元園芸高校教員 1961年～1964年)



2011年11月16日、東日本大震災後の復興復旧に喘ぐ日本に、爽やかな話題をもたらす若き国王夫妻が国賓として来日した。それは、多くの人の記憶に残る「ブータン国王ワンチュク」夫妻。若くして即位した王の婚儀に伴う来日であった。その訪日記者会見で、「ブータンにとって日本は大変な恩人の国」「その代表格がダシヨー・ニシオカ」と語った。記者団を始め殆どの参加者は、ブータンに貢献した「ニシオカは誰の事か分からなかったという。

その人「西岡京治(にしおかけいじ)」は大阪府立大学(当時)及び大阪市立大学(当時)に学んだ。師の指導の下、若き日にはネパール学術調査に参加し、麦の野生種を発見するなどの重要な功績を成した。また、植物学の研究者としても、兼ね備えた医師としても縦横に滞在地の人々に貢献した。

その見分と情熱を胸に、28歳の時、1961年(昭和36年)4月大阪府立園芸高等学校教諭として着任し、コメ、麦等の研究教育に携わり花卉も担当。また、山を愛する先生は山岳部にも参画し大いに盛り上げた。先生の農業と植物にかける情熱に多くの学生が触発され、その後の人生の糧にしたことであろう。



在職時の西岡京治先生



西岡先生 再びヒマラヤへ 出発 今月二十八日

新聞第77号(昭和37年3月16日)

きるのであるならばと、要請のあった「ブータン」への農業指導者として旅立つことを決心し、1964年(昭和39年)3月園芸高校を離任し、東京オリンピックピックムードに沸く日本を夫妻で後にした。(そういう自分の好みや楽しみは後にする人であった)

ブータン入りした先生に待っていたのは、高山が連なる山岳地帯の急傾斜の痩せた石ころだらけの斜面地であった。国から与えられたのは、農業指導とは言い難い「200㎡(約60坪)程の試験農場と3人の10代の実習生」であったという。そこでは極めて収量の低い稲作と種類に乏しい野菜栽培を目にしていた。

そうした中で先生は、高地ならではの寒暖差をいかし、日本から持ってきた「大根の種」を植えることに知恵と経験を注いだ。そして、「畝(うね)」を工夫した。その年の収穫の時期を迎えた。あまり興味を示さなかつた近隣の農家や関係者は、その見たこともない大きさの大根の出来ばえに驚愕した。何とその地で同じく栽培していた



大根の数倍もの大きさの立派な穫物であった。人々は競って「西岡大根の種」を求めた。その噂は、当時の国王にまで届き、国王直々種を求めた。

その後、先生の知識と技術と知恵が認められ、国王から今までの400倍の試験場を与えられた。ここでも先生の旺盛な情熱と知恵で、現地に適した何種類もの白菜、キャベツ、人参等の野菜や米の生産を教えた。特に、稲作には並木植えを導入させ従来の4割増しの収量を実現した。先生の口癖は、「しろーと教えるのではなく、自分がやって見せること」が本当の教育であり知識と知恵の伝達であると。

更にその後急逝した国王の後を継いだ16歳の現国王は、1972年西岡先生に懇願した。それは、「忘れられた土地と言われた最も食糧事情の厳しい地域の振興を任された。高山の斜面地で土地は痩せ道とは言えない山道は大きな岩だらけで、木々は地中深く根を下ろしている。その地に向かうのに5日間もかかった。焼き畑農業が中心であり大地は疲弊していた。何よりもそこに暮らす人々は、ほとんどがやせ細り飢餓状態であった。恐らく先生の心は泣き、命を削ってでも振興を成し遂げることを誓われたであろう。情熱を傾けた先生は、旧来の農業を変えようとし、人々に5年間800回にわたって、焼き畑を止め、畑を開墾し、日本の棚田に習い、溝を作り竹や木材をくり抜いて灌漑も工夫することを伝え説得した。その結果、数年後には稲穂がたわわなコメをつける60万㎡(約18万坪)にも及ぶ穀倉地帯へと変貌した。先生は「お金をつき込むことを考えるよ

り、身の丈に合った工夫を重ねること」が計画を着実に実現することになるとの信念であった。そこには、学校や診療所も設置され、人々の教育や衛生にも配慮されていた。その目に映し出されたのは、植物や命と向き合う優しい目で、人間であり生活を見つめた。

その努力と知恵の結果、ブータンの食糧自給率は80%を超えた。

1980年(昭和55年)国王から「国の恩人」として、民間人に贈られる最高の爵位である「ダシヨー」(最高の人)を授与され、同国において唯一にして史上初の外国人受爵者となった。その後も品種改良や工夫を重ね農業に貢献していったが、28年間の人々に実りをもたらした貴重な人生は、1992年(平成4年)3月21日帰国直前、敗血症に罹り、ブータンの首都ティンプーの病院で終えることとなった(59歳没)。

3月26日、ブータン王室およびブータン政府によって西岡京治先生の国葬が執り行われ、数千人参列し、参列できない多くの人々から哀悼の気持ちが届けられた。

「この国は貧しい。しかしそれぞれが幸せに思える国になつてほしいと願いを込めて、わたしの持ついる農業の知識をブータンの人々に教え続けた28年間は無駄ではなかった」と語っておられたという。



園芸高校生徒活動近況報告

＊フラワーファクトリ科



▲日本農業新聞の取材の様子



▲パンジーの生育調査の様子

には農家さん
に竹チップを
農業資材と
して使用して
もらい、地域
の放棄竹林
問題の解消に
繋げていきま
す。

フラワーファクトリ科植物バイオ部では、地域の放棄竹林問題の解消のために「竹資源を活用した持続的な花き生産を目指して」というテーマで研究に取り組んでいます。
丹波篠山市の放棄竹林で竹を切り、その竹をチップでチップ化したものを菊、ハボタン、パンジー、クリサンセマム、デージーの栽培に使用しました。この結果、「培養土、竹チップ5..5」の割合で配合すれば全ての花きで培養土のみで栽培した花きと生育の差はなく栽培できることが分かりました。竹チップ100%や竹チップを半分以上使用して栽培すると窒素

飢餓を起こ
し生育不良
となること
が分かりま
した。これ
からは竹チ
ップを使
用してコ
チョウラン
や観葉植物
の栽培実験
を行い、最
最終的に

＊バイオサイエンス科



▲バイオインテリアの一例



▲販売用のプリン製造の様子

バイオサイエンス科では日頃よりパンや漬物などの加工品の生産や研究成果の発表などに取り組んでいます。
6月に池田駅前で行われたせせらぎ子どもフェスタでは、食品製造部と農産加工部、バイオ研究部が出店しました。パンやプリン、バイオインテリアなどを販売し、多くのお客様に来ていただき完売しました。今後も記念祭等の販売や研究発表に向けて、さらなる改良や新商品の開発、実験に力を入れて頑張っていきます。

＊環境緑化科



▲門松の作成



▲池田市 ポタフェスの小庭園づくり

環境緑化科では、日頃より造園に関する知識や技術を学習し、習得した技術を生かして、様々なところで生徒たちが活躍できる場所を設けております。
みのおキューズモールでの門松制作や池田市のイベントボタフェスでは、庭造りの実演を披露させていただきました。多くの人たちに見ていただき、生徒たちもやりがいを感じることができました。

異動職員

令和6年度当初教職員人事異動

(退職、離任のみ)

1. 退職または任用期間の終了

氏名	職名	教科
湯川 貴充	農芸員	技職
吉田 光宏	講師	数学
多田 はるか	養護	助教諭

2. 離任

今井 直彦	教頭	
浅田 昇太	教諭	保健体育
山根 伸彦	教諭	農業F F
向山 公次	教諭	農業K R
内田 秀司	主査	事務
湊田 侑吾	副主査	事務
小川 芳美	主事	事務
岡本 哲章	校務員	技職
福栄 和宏	農芸員	技職

令和5年度進路状況

令和5年度府立園芸高校卒業生徒の進路先一覧

【大学・短大進学】

【関連学部】

(国立) 愛媛大学社会共創学部地域資源マネジメント、京都教育大学教育学部技術領域、徳島大学生物資源学部、琉球大学農学部亜熱帯農林環境科学科

(私立) 大阪青山大学健康科学部健康栄養学科、大前大学健康栄養学部、北里大学獣医学部動物資源科学科、京都先端科学大学バイオ環境学部バイオ環境デザイン学科、近畿大学農学部応用生命科学科、近畿大学生物理工学部食品安全工学科、甲子園大学栄養学部栄養学科(3)、神戸女学院大学人間科学部環境・バイオサイエンス学科、摂南大学農学部農産生産学(3)、摂南大学農学部応用生物科学科、園田学園女子大学人間健康学部食料栄養科学科、東海大学農学部食料農業システム科学科、龍谷大学農学部食料農業システム科学科

(短大) 大阪成蹊短期大学調理・製菓学科製菓コース、東大阪大学短期大学部実践食物学科製菓衛生師コース、東洋食品工業短期大学包装食品工学科(3)

【非関連学部】

大阪学院大学経営学部経営学科、大阪学院大学経済学部経済学科、大阪経済法科大学経営学部経営学科、大阪工業大学の財産学部の財産学、大阪国際大学人間科学部人間健康科学科、大阪人間科学大学人間科学部社会創造学、大前大学経営学部、大前大学建築と芸術学部、大前大学国際日本学部、関西国際大学教育学部教育福祉学科、甲子園大学心理学部現代応用心理学科、神戸芸術工科大学芸術学部メディア芸術学科、淑徳大学人文学部表現学科

(短大) 大阪学院大学短期大学部経営実務科、大阪芸術大学短期大学部メディア・芸術学科(3)、大前短期大学ライフデザイン学科、関西外国語大学短期大学部英米語学科

【専門学校・各種学校等進学】

大阪府立環境農林水産総合研究所農芸大学校、鳥取県立農業大学校野菜コース、奈良食と農の魅力創造国際大学校フードクリエイティブ学科、兵庫県立農業大学校、北海道農業大学校畑作物園芸経営学科、北海道農業大学校農産科、京都府立林業大学校森林林業科

【医療・衛生】

大阪医療看護専門学校(2)、大阪医療福祉専門学校、大阪園芸衛生専門学校(3)、大阪調理製菓専門学校ecole U.M.E.D.A. 大阪農業園芸・食テクノロジー専門学校、大阪ビュー

ティーアール専門学校、大阪ビューティーアート専門学校、関西美容専門学校、神戸国際調理製菓専門学校、辻学園栄養専門学校

【教育・社会福祉】

大阪こども専門学校、大阪保育福祉専門学校

【工業・農産】

H.A.L.大阪、修成建設専門学校、大阪動物植物海洋専門学校(3)

【文化・教養】

OCA大阪デザイン&テクノロジー専門学校、大阪ECO動物海洋専門学校、大阪デザイン&ブライダル専門学校、大阪観光専門学校、大阪鉄道・観光専門学校、大阪動物専門学校、大阪バイオメディカル専門学校、大阪ハイテクノロジー専門学校

【その他】

大阪INNA職業支援センター(2)、京都府立京都高等技術専門学校、タキイ研究農場附属園芸専門学校(2)

令和5年度府立園芸高校卒業生徒の就職先一覧

【学校紹介就職】

【園芸・農業・造園関係】

大阪北部農園J.A.、サトウ花店、友行園芸場、大阪中央青果、宝塚山本ガーデニング・クリエティブ・クリエティブ・フラワー・コーポレーション、THE GOOD FLOWER JAPAN、阪神園芸(5)、朝日興産、柿丸建設、植伸建設、松盛園、読光ゴルフ、宝塚ゴルフ倶楽部

【製菓・化学関係】

沢井製菓(2)、太陽アルマック(2)、健康製菓(2)、東邦製菓、東洋紡(敦賀)(2)、住友化学、日製化学、大日本除虫菊(金島)、王子イメージングメディア

【食品製造関係】

マリノア(2)、東洋製菓、第一製パン、山崎製パン、敷島製パン、551蓬菜(2)、YKベークン、数カパン、エフワンベーカー、ベル食品、ハウスウェルネスフーズ(2)

【運輸】

【工業系製造】

富士シート(2)、金森合成樹脂、島田工業

【介護・看護助手】

アスモ介護サービス(2)、ウエル清正会

【販売・サービス・飲食】

蓬菜(4)、伊藤ハムフーズソリューション、鳥芳、喜八洲総本舗、YKベークン、カンパニー、クーパーウェルケア、グッド・フランス、くずはエーワン、神戸屋、ウェルシア薬局、JALUXエポーター、朝日エポーターサービス(2)、阪急阪神ホテルズ、ヒューテックノオリオン、グッドライフ、宝塚ゴルフ倶楽部、茨木カンツリー倶楽部、能勢観光開発(2)、セコムジャスティック

【公務員】

大阪府(技術、陸上自衛隊(2)、海上自衛隊

高21化 卒業55周年記念 第15回同窓会



5月25日 池田市内



同窓会入会式



卒業幹事委嘱式

R 5 新幹事

フラワーファクトリ科

山崎琴乃 山南寧々
岩本大河 吉見望愛

環境緑化科

市 昇敏 川添凌駕

バイオサイエンス科

一木花音 林くるみ
竹田冨輝 藤本愛羅



事務局からのお願い

- 各クラス、学年で同窓生の名簿を保持または作成されている方にお願いします。名簿又はメール、Lineグループがあれば事務局までお申し出ください。
- 幹事の方にお願いです。幹事の方が入っているメール、Line・ZoomなどのSNSネットがあれば、同窓会のネットを構築したいと取り組んでいますので、お申し出ください。
- コロナ禍後も油断することができません。今後、役員会や幹事会、ある場合には同窓会総会もSNSで開催することも考えられます。それぞれ、スマートフォンに該当アプリをインストールして頂き、ご準備・ご協力をお願い致します。
- 卒業アルバムや学生時代の物品等をご提出頂ける方はお申し出ください。110周年に向けて、歴史を物語る品々を保存していきたいと計画しています。

編集部からのお願い

☆会報や情報発信の充実のために

編集部委員を募集します！！

卒業生の動向や活動などの取材、映像の収集、ホームページやSNSへのアップの作業などに手腕を発揮して頂ける方

下記について何でも結構ですので情報を提供して下さい。

- 旧校歌、応援歌の歌詞や楽譜をお持ちの方の提供
- 現校歌にまつわる経緯等について
- 校章にまつわる経緯等について
- 昭和30年代後半に庭園に「白鳥」が2羽飼われていたことについて

編集後記

今年の卒業生たちは、丸3年間をコロナ禍で学級閉鎖や登校休止、行事の度重なる変更の中、学習、通学、実習に動んだ。その努力に敬意を表し、これからの人生に対してエールを送るとともに、次の言葉を贈りたい。それは、「インド近代農業の父」と仰がれるスワミナサン博士が、幼くして父を亡くす等の様々な逆境を乗り越えた経験を踏まえ、「人生の岐路に立つことで、私たちは責任感の強い感受性の豊かな人間となり、成功への決意をさらに強めることができる」と。

卒業生たちの前途を祈り、楽しみにしながら、同窓会は会員相互の交流の活性化を図り、惜しみなく学生への支援をおこなっていききたい。皆様の益々のご協力をたまわりたい。